



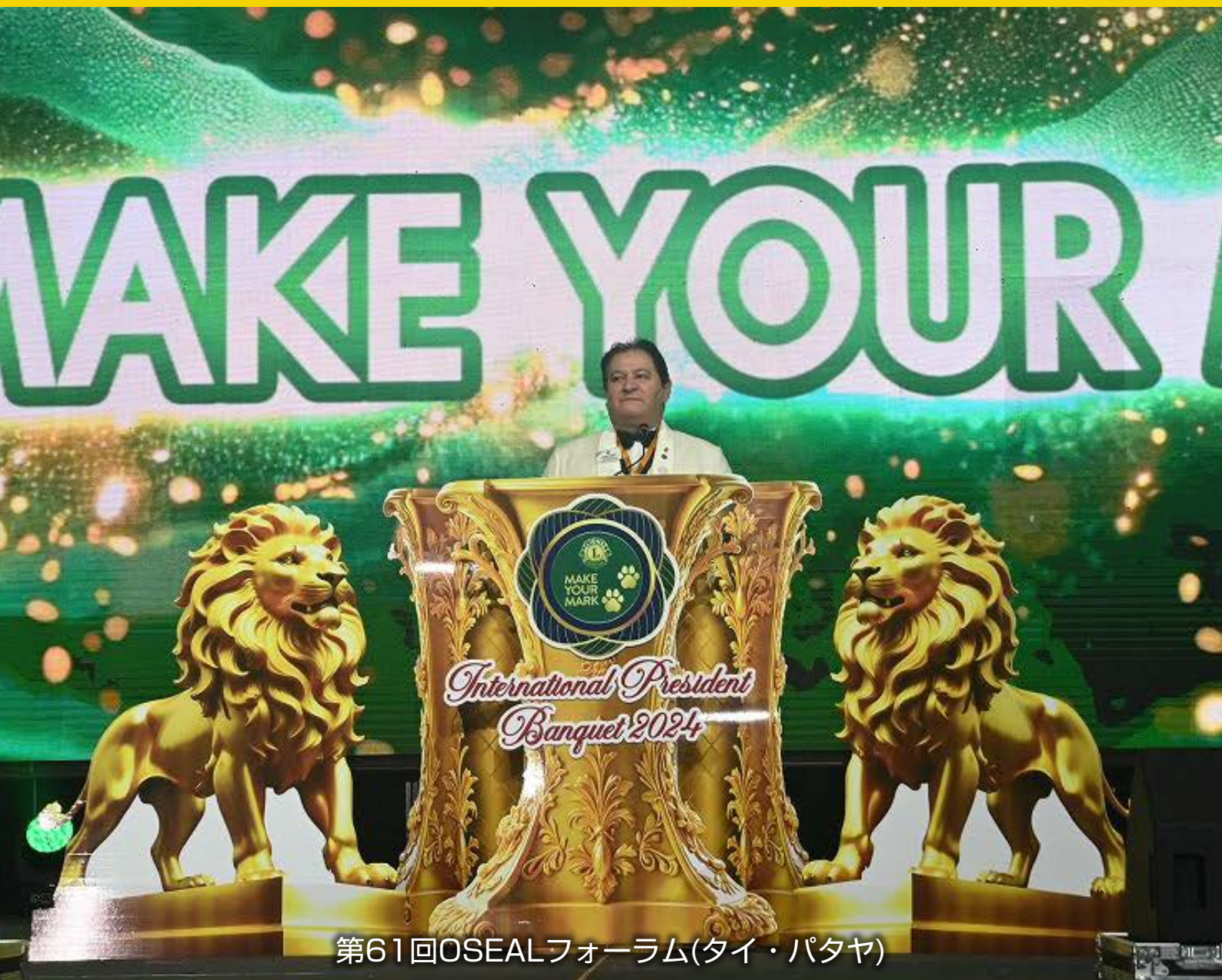
Lions Club 332-E地区機関誌

Lion

# 最上川

No 4

2024 ~ 2025



第61回OSEALフォーラム(タイ・パタヤ)

- 地区ガバナー 新年のご挨拶・・・・・・・・・・ 2P
- 第61回OSEALフォーラム・・・・・・・・・・ 2P～3P
- リーダーシップセミナー・・・・・・・・・・ 4P
- ピンクリボンチャリティゴルフ大会・・・・・・・・ 5P

## 新年のご挨拶

地区ガバナー L.安孫子 英彦



あけましておめでとうございます。

2024年7月から始まった今年度も、ようやく半年が経過したところです。この半年間、当地区では、様々な奉仕活動を展開することができました。7月に庄内地域と最上地域において発生した豪雨災害については、地区アラート委員会と被災地のZCを中心に対応し、被災地に経口補水液、タオル、ウエス、ゴミ袋を届けることができました。また、10月には、地区FWTの主催で「やまがたピンクリボンチャリティーゴルフ大会」を開催しました。ゴルフ大会で集まった寄付金は、やまがたピンクリボン運動実行委員会に贈呈しました。この寄付金は乳がん検診、早期発見の重要性を広める活動に役立てられます。このほか、献血推進活動に関しては、献血推進研究会を開催し、ライオンズクラブメンバーの献血活動に対する理解を深めました。そして、各クラブにおいて、山形県赤十字血液センターの

献血活動の支援を活発に行っています。また、薬物乱用防止啓発運動に関しても、各クラブが街頭や学校において啓発活動を行っています。さらに、10月のライオンズ奉仕デーには、各クラブの協力により、最上川及びその支流の一斉清掃を行いました。それ以外にも、各クラブが地域に根差した奉仕活動を展開しました。

さて、1月からの下半期は、会員増強に力を入れる時期であります。当地区では、近年会員減少の傾向が続いています。会員数の減少は、ライオンズクラブの奉仕の力の弱体化につながります。一人でも多くの仲間を増やし、奉仕の輪を大きく広げて行きましょう。

そして、LCIFへの寄付も宜しくお願ひします。ご存じのとおりLCIFは世界中の子供たちや被災者等に援助を行っています。LCIFに寄付することが、すなわち世界中の人たちに対する奉仕活動になります。お一人100ドルで構いません。LCIFへの寄付を通して、世界的な奉仕活動に参加しましょう。

## 第61回OSEALフォーラム(タイ・パタヤ)

キャビネット幹事 L.黒田 利夫

第61回OSEALフォーラムが2024年11月14日～17日まで、タイのパタヤにおいて開催されました。メイン会場はパタヤ・ロイヤルクリフグランドホテルと近くにあるコンベンションホール（PEACH）で行われました。1日目の14日はLCIFチャリティーゴルフ・海亀の放流などが行われました。2日目の15日、国際会長と地区ガバナーの会議があり、安孫子ガバナーは午前中からの参加となりましたが、我々一般会員は午後の開会式からの参加となりました。開会式のドレスコードはアロハシャツとのことで会場は南国風でとても陽気な感じで開会式を迎えることとなりました。日本ライオンズは赤色のアロハシャツを作成したので、赤色のアロハを着ている人は日本のライオンとすぐわかりました。開会式は国際理事、議長、ガバナー、LCIF理事長、国際会長の入場後、ガジェット元国際会長、フォーラム委員長、パタヤ市長の3名での銅鑼が鳴らされフォーラムが正式に開催されました。

ガバナーはMDごと入場したので、各MDのガバナーが入場の際は、当該国のライオンが立ち上がり拍手と歓声により会場は大いに盛り上がりしました。開会式が始まった時には数千人のアジア各国のライオンがいたのですが、1時間過ぎにようやくオリヴェイラ国際会長の挨拶が始まった時には、会場内のライオンはほとんどいなく、自分たちのガバナーの入場が終われば皆さん帰ってしまうのかな、と非常に寂しく思いました。開会式終了後、332E地区のメンバーと夕食会を行いました。安孫子ガバナー、横山第一副地区ガバナー、私幹事と、加藤会計、尾崎副幹事、東根さくらんぼLC、大石田LCの皆さんとパタヤの海鮮料理を満喫しました。その後、安孫子ガバナー、キャビネット3役はパタヤの夜の街に消えました。3日目の16日、ガバナーは朝から会議があり、各種セミナー、各国レセプションがあり、夜は国際会長晩餐会が開催されました。晩餐会会場で開催されるまでホールで待機していましたが、そこには世界各国の民族衣装を着た女性（高齢の方が多くタイの女性ライオン？）がたくさんいて、日本の着物（振袖）を着ている方、クレオパトラがいて、ジュデイオングのような方がいて、まるでハロウィンパーティでも始まりそうな雰囲気であったが、その方たちは晩餐会のアトラクションで準備していた方たちであった。晩餐会が開催されると、タイの国歌が流れその後乾杯、ブラジルの国歌が流れその後乾杯、その後、国際会長や来賓の挨拶があったが、モニターに翻訳された文字がうまく追従しなく、理解できなかった。お酒はテーブルにワイン2本しかなく、また、参加者が1500人くらいいたようで、料理が出るまでに時間がかかり、帰るためにタクシーを待たせていたので、1時間半位で途中退席しましたが、帰るまでに食べられた料理は前菜のみ。不満が残る晩餐会であった。その不満はパタヤの街で発散しました。

4日目の17日は国際会長とガバナーの会議終了後、閉会式が開催された。閉会式でも各国MDの議長がアナウンスされるとその国のライオンの歓声が上がりました。我が332複合地区渡邊議長が案内された時には大いに盛り上がりましたが、それ以上に、中国の各MD議長がアナウンスされると中国人が一斉に立ち上がり、その会場には中国人しかいないような雰囲気になり異様な盛り上がりになりました。最後に331複合地区の関係者がステージに立ち、次年度開催の札幌OSEALフォーラムの案内が行なわれました。ぜひ来年は、たくさんの日本のライオンの方々がOSEALフォーラムに参加して、各国のライオンに日本のライオンズクラブのパワーを見せつけてほしいと思います。

今回、OSEALフォーラムに参加して、各国、各地区のライオンと出会え、また、パタヤの街を探索でき、有意義な経験をさせていただき、楽しいOSEALフォーラムでした。



# リーダーシップセミナー

地区GLTコーディネーター L.山口龍二

ガバナー・テーマ「楽しくなければライオンズじゃない」のもと、参加者が楽しく学べるようにと企画した“リーダーシップ・セミナー”となりました。「セミナーでは懇親会を行いたい」という安孫子ガバナーの言葉と、「前日に飲めたらセミナーが盛り上がりますよ」という講師の言葉を受け、会場となる“ほほえみの宿滝の湯”の協力のもとで開催することができました。

講師にはL.川野浩史（335-B 名誉顧問・大阪すみのえLC）をお招きし、夕方よりアルコールブレスト（お酒を飲みながら講師の話聞く）と懇親会を、翌日の午前中にセミナーを開催するという新たな取り組みになりました。講師のお話は、332-E地区会員とともに参加した国際大会の思い出や自身のガバナー時代の取り組み、幾つかの条件のもとで架空のクラブの運営を考えるワークショップ、ジョパディ（クイズ）での学びとなりました。両日参加は20名ほどでしたが、新しい取り組みはいかがだったでしょうか？



# 2024やまがたピンクリボンチャリティゴルフ大会

地区FWTコーディネーター L.色 摩 智恵美

今年度のFWT活動を考えるにあたり「継続的かつ改善可能で、コーディネーター各人が達成感を味わえる活動」を目指し2事業を計画。その中のひとつである「ピンクリボンチャリティゴルフ大会」を10月3日、10日と2日に渡り開催しました。打合せも初回は集合形式で計画内容の確認を行い、以降は負担軽減を図りWEB会議を活用。効率的な準備を心掛け、中でも「ゴルフ大会」の表彰式に欠かせない商品の準備にガバナー公式訪問を活用しました。当日はリーダーを中心にクラブコーディネーターが運営を担い、142名のゴルフ参加者含め全員がシンボルカラーのシャツ、手作りマスコット、髪飾り等をそれぞれ身にまとい交流を深めながら啓蒙活動を実施。10月27日には「やまがたピンクリボン運動実行委員会」へチャリティー金36万8,587円を贈呈、若年層を中心に「乳がん早期発見、早期治療の啓蒙」SNS活用費に充てられる予定です。最後に本事業を通じ332-E地区のライオンのチーム力を実感すると共に皆様のご協力に深く感謝の意を表します。

